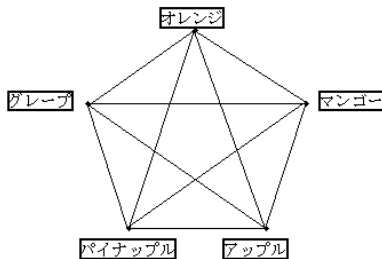
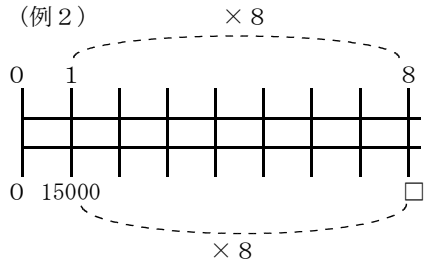
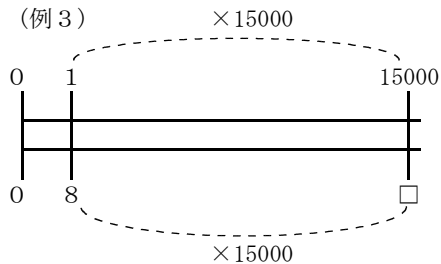


平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 数学 解答一覧 No.1

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況 成績処理システムでは「1」と入力すること	十分満足できる解答状況 成績処理システムでは「2」と入力すること
1	(1)		①	技能		1 3
	(2)		②	技能		- 3 2
	(3)		③	技能		3 x
	(4)		④	技能		4 $x - 5$
2	(1)		⑤	技能		1 5
	(2)		⑥	考え	○ イ, エ, オのうち2つ正解を書いている。	イ, エ, オ
	(3)		⑦	知識	○ ア, ウ, エのうち2つ正解を書いている。	ア, ウ, エ
	(4)		⑧	関心	○ ABの長さを測り, 実際のABの高さを計算により求めているが, 目の高さを加えていない。 ・ $AB = 3.5 \text{ cm}$ なので $3.5 \text{ (cm)} \times 200 = 700 \text{ (cm)}$ $700 \text{ (cm)} = 7 \text{ (m)}$ 実際の校舎の高さは <u>7 m</u> ○ ABの長さを測り, 実際の校舎の高さを計算により求めているが, 途中の計算を間違っている。	○ ABの長さを測り, 実際の校舎の高さを計算により求めている。 ・ $AB = 3.5 \text{ cm}$ なので $3.5 \text{ (cm)} \times 200 = 700 \text{ (cm)}$ $700 \text{ (cm)} = 7 \text{ (m)}$ 校舎の高さは $AB + 1.5 \text{ m}$ なので $7 + 1.5 = 8.5$ 実際の校舎の高さは <u>8.5 m</u> ※ ABの長さを $3.3 \text{ cm} \sim 3.7 \text{ cm}$ とし, 校舎の高さを $8.1 \text{ m} \sim 8.9 \text{ m}$ にした場合も, 誤差の範囲内として, 十分満足できる解答とする。
	(5)		⑨	知識		エ
	(6)		⑩	技能	○ 記号はイと書いているが, 式を $y = -2 \times x$ としている。 ※式変形可	○ 記号と式があっている。 ・ 記号 <u>イ</u> ・ 式 $y = -2x$ ※式変形可
【授業改善の視点】 関数や比例の意味を理解するために, x にある値を代入したときの y の値の変化について, 表などを用いて確認する活動を取り入れる。						
3	(1)		⑪	関心	○ オレンジ以外の3種類のジュースを書いている。 グレープ パイナップル アップル 等	○ オレンジ以外の4種類のジュースをすべて書いている。 グレープ パイナップル アップル マンゴー
	(2)		⑫	考え	○ 図のみ正しくかいている。 ○ 全部で10通りと書いているが, 図を正しくかいていない。	○ 図を正しくかいており, 全部で10通りと書いている。 (正しい図)  全部で (10) 通り

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況 成績処理システムでは「1」と入力すること	十分満足できる解答状況 成績処理システムでは「2」と入力すること
4	(1)		⑬	知識		1 2 c m
	(2)		⑭	考え	○ 記号イを選び、比例式や図に表して求めているが、単位をc mからmに直していない。	<p>○ 記号をイと書き、求め方を正しく書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記号 イ ・求め方の例 <p>(例1)</p> <p>学校からかずやさんの家までの実際の距離を x c m とすると、縮尺が $1 : 15000$ だから、このことを x を使って比例式に表すと、$1 : 15000 = 8 : x$ となる。 よって、$x = 15000 \times 8$ $x = 120000$ この単位を c m から m に直すと 1200 m となる。 したがって、学校からかずやさんの家までの実際の距離は、1200 m となる。</p> <p>(例2)</p>  <p>上の図のように地図上の長さを実際の距離を表せば、学校からかずやさんの家までは、$15000 \times 8 = 120000$ と表せる。 この単位を c m から m に直すと 1200 m となる。 したがって、学校からかずやさんの家までの実際の距離は、1200 m となる。</p> <p>(例3)</p>  <p>上の図のように地図上の長さを実際の距離を表せば、学校からかずやさんの家までは、$8 \times 15000 = 120000$ と表せる。 この単位を c m から m に直すと 1200 m となる。 したがって、学校からかずやさんの家までの実際の距離は、1200 m となる。</p>

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 数学 解答一覧 No.3

大問	中間	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況 成績処理システムでは「1」と入力すること	十分満足できる解答状況 成績処理システムでは「2」と入力すること
5	(1)		15	知識		ウ
	(2)		16	技能		<p>○ アとイをどちらも正しく書いている。</p> <p>ア $3h$ ($6 \times h \div 2$, $\frac{6h}{2}$ 等も可)</p> <p>イ $2h$ ($4 \times h \div 2$, $\frac{4h}{2}$ 等も可)</p>
	(3)		17	考え	○ 式からア、イの条件については読み取れるが、「平行四辺形」「底辺」という言葉を使っていない。	<p>○ 次のア、イについて記述していて、「平行四辺形」「底辺」という言葉を使っている。</p> <p>ア 平行四辺形の底辺を10、高さを h と考えていること。</p> <p>イ 台形の面積は平行四辺形の面積を二等分したものであること。</p> <p>(正答例)</p> <p>ア 平行四辺形の面積は、(底辺) × (高さ) で求められるので、 $10 \times h = 10h$ となる。</p> <p>イ 台形の面積は平行四辺形の面積を二等分したもののなので、</p> <p>台形の面積 $= 10h \times \frac{1}{2}$ $= 5h$</p>
	【授業改善の視点】 事象を数学的に考察できるようにするために、図形の周の長さや面積を、文字式を使って表したり、説明したりする活動を取り入れる。					
6	(1)		18	考え		ア
	(2)		19	技能		<p>○ 途中の計算と解が正しく、学校から図書館まで歩いて行くのにかった時間は9分と解答している。</p> <p>(正答例)</p> $\begin{aligned} 80x &= 180(x-5) \\ 80x &= 180x - 900 \\ 80x - 180x &= -900 \\ -100x &= -900 \\ x &= 9 \end{aligned}$ <p>したがって、学校から図書館まで歩いて行くのにかった時間は 9分</p>
	(3)		20	考え	<p>○ 記号をイと書いているが、方程式の左辺と右辺が表している数量を「学校から図書館までにかかった時間」と書いている。</p> <p>※ 方程式の左辺と右辺が表している数量を「ゆかりさんが学校から図書館までに(自転車で行くのにかかった時間)」と解答しているものは誤答とする。</p>	<p>○ 記号をイと書き、方程式の左辺と右辺が表している数量も正しく答えている。</p> <p>・記号 イ</p> <p>・方程式の左辺と右辺が表している数量 「かずやさんが学校から図書館までに(歩いて行くのに)にかかった時間」 (または) 「ゆかりさんが学校から図書館までに(自転車で行くのにかかった時間)に5分たした時間」</p>
	【授業改善の視点】 具体的な事象の中から等しい関係を見つけ、方程式をつくるために、方程式の左辺や右辺の文字式が表している数量や方程式が表している数量の関係について説明する活動を位置付ける。					